

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成24年度分）

団体名：京丹後市

プロジェクト名	環境先進都市推進プロジェクト	実施期間	H23～H26	テーマ	自然・環境	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	本市は、日本海に面する白砂青松の海岸線、緑豊かな山々、日本海に注ぐ多くの河川などの美しい自然環境に恵まれている。この豊かな自然環境を持続的に保全するため、市、事業者及び市民が一体となって環境保全活動に取り組む必要がある。また、「大量生産・大量消費・大量廃棄」を基調とした経済活動やライフスタイルを背景に、本市においても深刻な廃棄物問題に直面しており、環境への負担を低減させる取り組みが求められている。このような状況から、ごみの減量化と限りある資源の有効活用を図ることが必要である。 地域住民においても自治会、NPO等を通じ、環境保全や新エネルギーの導入、循環型社会の構築に関する取り組みが活発に行われており、住民ニーズは高い。						
プロジェクトの目的及び概要	美しい海と豊かな森林に包まれた良好な自然環境を守り育てるため、市民、事業者、行政の協働によって、この自然と共生する生活環境と循環型社会を築き、日本に誇れる環境先進都市の実現を目的とする。						
	総事業費（千円）	864,506	本年度事業費（千円）	210,960	交付金額（千円）	43,000	
プロジェクトを構成する事業の平成24年度事業実績（出来高数値等）							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	環境保全活動事業	交付対象事業	美しいふるさとづくり審議会を設置し、環境保全重点区域の監視活動や保護啓発を行うほか、環境保全活動を行う市民団体等を支援する。		美しいふるさとづくり審議会を設置し、環境保全重点区域の監視活動や保護啓発を行った。		
	液肥製造施設整備事業	交付対象事業	生ごみから再資源化した液肥を市内農地で活用し、循環型農業を推進するため、液肥製造施設の設備整備を行う。		生ごみから再資源化した液肥を市内農地で活用し、循環型農業を推進するため、液肥製造施設の設備整備を行った。		
	再生可能エネルギー推進事業	交付対象事業	再生可能エネルギーの導入にあたり、専門家によるセミナーを実施し環境未来都市を目指す。		事業化セミナー、事業化シンポジウムの開催。市民・事業者アンケートを行った。		
	公害対策事業	交付対象事業	自動車騒音の常時監視を行い環境基準の達成状況を把握する。		環境基準の達成状況を把握するため、自動車騒音の常時監視を行った。		
	峰山クリーンセンター整備事業	交付対象事業	発がん性が確認されているダイオキシン類の発生を最小限に抑えるため、焼却設備等を計画的に改修する。		発がん性が確認されているダイオキシン類の発生を最小限に抑えるため、焼却設備等を計画的に改修した。		
	峰山最終処分場整備事業	交付対象事業	環境基準に適合した施設の維持管理をするため、機器の総合点検及び施設の改修工事を実施する。		環境基準に適合した施設の維持管理をするため、機器の総合点検及び施設の改修工事を実施した。		
	網野最終処分場整備事業	交付対象事業	環境基準に適合した施設の維持管理をするため、機器の総合点検及び施設の改修工事を実施する。		環境基準に適合した施設の維持管理をするため、機器の総合点検及び施設の改修工事を実施した。		
	久美浜最終処分場整備事業	交付対象事業	環境基準に適合した施設の維持管理をするため、機器の総合点検及び施設の改修工事を実施する。		環境基準に適合した施設の維持管理をするため、機器の総合点検及び施設の改修工事を実施した。		
	海岸・海水浴場環境保全事業	交付対象事業	海岸漂着物の清掃など海岸の環境保全と海浜の環境美化に努め、美しい丹後の海岸線を保護する。		海岸漂着物の清掃などを実施し、海岸の環境保全と海浜の環境美化に努めた。		
	堀川浄化施設維持管理事業	関連事業	堀川浄化施設を管理し河川の水質保全を図る。		堀川浄化施設を管理し河川の水質保全を図った。		
	環境保全意識啓発事業	関連事業	京丹後市の自然に触れながら、自然環境保全への意識向上・啓発を図る。		自然観察会（内山ブナ林観察会）や環境体験学習（水生生物調査）の実施により、市民に環境保護意識の浸透を図った。		
	液肥普及推進事業	関連事業	液肥利用者及び希望者を対象として、液肥利用農産物の栽培技術向上を目的とするセミナーを開催する。		液肥利用者及び希望者を対象として、液肥利用農産物の栽培技術向上を目的とするセミナーを開催した。		
	バイオガス発電施設整備事業	関連事業	再生可能エネルギーの導入を推進するため、バイオガス発電施設の設備整備を行う。		再生可能エネルギーの導入を推進するため、バイオガス発電施設の設備整備を行った。		

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成24年度分）

団体名：京丹後市

住民協働事業	水洗化推進支援事業	交付対象事業	水質保全及び地域経済の活性化を図るため、市内業者により排水設備工事を行った者に対し補助金を交付する。	水質保全及び地域経済の活性化を図るため、市内業者により排水設備工事を行った者に対し補助金を交付した。（261件）	
	資源循環推進事業	交付対象事業	循環型社会の構築に向け、生ごみの資源化や食品リサイクル液肥の利用を推進する。	循環型社会の構築に向け、生ごみの資源化や食品リサイクル液肥の利用を推進のためのPRや勉強会を実施した。	
	古紙回収団体補助金	交付対象事業	限りある資源の有効活用を進めるため、古紙回収団体のリサイクル活動を支援する。	限りある資源の有効活用を進めるため、古紙回収団体のリサイクル活動を支援した。（159件）	
	廃棄物減量等協力謝金	交付対象事業	自治会の協力によりステーションでの分別収集の指導・啓発を実施し、ごみの減量化に努める。	自治会の協力によりステーション（412か所）での分別収集の指導・啓発を実施し、ごみの減量化に努めた。	
	地域循環型農業支援事業	交付対象事業	有機農業等の生物多様性を育む農業を推進するため、堆肥及び生分解性マルチフィルム等資材の購入を支援する。	有機農業等の生物多様性を育む農業を推進するため、堆肥及び生分解性マルチフィルム等資材の購入を支援した。	
	コウノトリもすめるさとづくり支援事業	交付対象事業	コウノトリなどの鳥類が共生する豊かな田園、里山の環境整備を進めるため、水田ビオトープの設置などに対し補助金を交付する。	コウノトリなどの鳥類が共生する豊かな田園、里山の環境整備を進めるため、水田ビオトープの設置などに対し補助金を交付した。	
	浄化槽設置整備費補助金	関連事業	個人が行う浄化槽設置整備工事に係る経費の一部を補助する。	個人が行う浄化槽設置整備工事に係る経費の一部を補助した（10件）。	
	不法投棄対策事業	関連事業	不法投棄防止啓発看板の設置やパトロール、啓発活動を行うとともに、不法投棄廃棄物の撤去を行う。	不法投棄防止啓発看板の設置やパトロール、啓発活動を行うとともに、不法投棄廃棄物の撤去を行った。	
	地球温暖化防止対策推進事業	関連事業	自然エネルギー活用の普及による温室効果ガスの排出削減のため、市民の環境に対する意識啓発を行う。	自然エネルギー活用の普及による温室効果ガスの排出削減のため、市民の環境に対する意識啓発を行う。（薪ストーブ・ペレットストーブ 設置補助金6件）	
住民が取り組む事業	コウノトリも棲めるまちづくり事業	関連事業	農業等の使用を極力少なくし、コウノトリも棲める環境を創造する。		
	次代へ残す琴引浜白砂青松保全事業	関連事業	琴引浜周辺の環境整備のほか、震災で壊滅した東北地方の松林再生支援に向けた取り組みを紹介する。		
	山、人、海を結ぶ命の川再生事業	関連事業	清流野間川に関連した学習会や講演会、清掃等環境整備事業を実施する。		
	住民参加の地域美化活動による里山再生事業	関連事業	「丹波城」跡の案内板の設置、事業をまとめた冊子の作成、公園完成イベントを開催する。		
	やまなみフェスタ事業	関連事業	ブナ林散策会や地域の歴史を学ぶ講座のほか、ホタルの生息を観察する蛍の夕べを開催する。		
	尉ヶ畑区環境整備事業	関連事業	水車を利用した村おこしや地域の拠点である公園内の補修、市最高峰の登山道の安全管理を行う。		
成果指標①	成果指標の目標数値	京丹後市美しいふるさとづくり条例による重点区域数 H22 4か所 → H26 10か所		成果指標の実績値 （平成25年3月31日時点）	4か所
	成果指標の達成状況	○	（左の理由）	現状維持だが平成26年度に向け増加を見込む。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成24年度分）

団体名：京丹後市

成果指標②	成果指標の目標数値	はだしのコンサート来場者数 H22 約2,000人 → H26 現状維持又は増加			成果指標の実績値 (平成25年3月31日時点)	約2,000人		
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	現状維持				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)					(時期)	
成果指標③	成果指標の目標数値	環境保全意識啓発事業参加者数 H22 160人 → H26 240人			成果指標の実績値 (平成25年3月31日時点)	219人		
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	参加者も着実に増加してきており、環境保全について考える機会となっている。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)					(時期)	
成果指標④	成果指標の目標数値	行政のみならず事業者及び市民が一体となった環境保全活動の拡大をめざす			成果指標の実績値 (平成25年3月31日時点)			
	成果指標の達成状況	－	(左の理由)					
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)					(時期)	
成果指標⑤	成果指標の目標数値	薪ストーブ、ペレットストーブ設置件数 H22 18件 → H26 80件			成果指標の実績値 (平成25年3月31日時点)	29件		
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	薪ストーブ・ペレットストーブ設置補助金の周知による。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)					(時期)	
成果指標⑥	成果指標の目標数値	小型風力発電システム設置件数 H22 0件 → H26 4件			成果指標の実績値 (平成25年3月31日時点)	0件		
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	小型風力発電システムが高額なため中々設置にまで至らないが、環境に対する意識啓発を行い、地球温暖化防止対策として今後も自然エネルギーを推進する。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)					(時期)	

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成24年度分）

団体名：京丹後市

成果指標⑦	成果指標の目標数値	年間バイオガス発電量 H22 1,108mWh → H26 3,663mWh		成果指標の実績値 (平成25年3月31日時点)	494mWh	
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	バイオガス発電で生成されるメタン発酵消化液は「液肥」として利用しているが、余るメタン発酵消化液の処理については多額の費用がかかるため、発酵消化液の全量が消費できる程度に発電を抑えているため。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
成果指標⑧	成果指標の目標数値	廃棄物系バイオマス利用率及び未利用バイオマス利用率の向上をめざす		成果指標の実績値 (平成25年3月31日時点)		
	成果指標の達成状況	－	(左の理由)			
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
成果指標⑨	成果指標の目標数値	古紙等のリサイクル率 H22 12% → H26 25%		成果指標の実績値 (平成25年3月31日時点)	11.2%	
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	ごみの総量が増加傾向の中、古紙の改修は微減しているため。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
成果指標⑩	成果指標の目標数値	液肥利用量 H23 (9月時点) 1,200トン → H26 10,000トン		成果指標の実績値 (平成25年3月31日時点)	3,858トン	
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	液肥利用の実証モデルにより、液肥の有効性を確認するとともに、農家の液肥に対する理解が進んだため。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
成果指標⑪	成果指標の目標数値	峰山クリーンセンター焼却量及びリサイクル率 H22 16,619トン、19.2% → H26 16,795トン、26.0%		成果指標の実績値 (平成25年3月31日時点)	17,240トン、18.7%	
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	ごみの減量化及びリサイクルの推進を図っているが、年々ごみ自体が増大しているため。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成24年度分）

団体名：京丹後市

成果指標 ⑫	成果指標の目標数値	最終処分場埋立量（市内4施設全体） H22 7,273トン → H26 4,970トン		成果指標の実績値 （平成25年3月31日時点）	7,850トン	
	成果指標の達成状況	△	（左の理由）	H24年度は豪雨災害の埋め立てごみが無かった分、H23年度よりも埋立量は減少しているが、年々埋立ごみの量が増加傾向にあるため。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）	
成果指標 ⑬	成果指標の目標数値	し尿及び浄化槽汚泥処理量（網野衛生センター・竹野川衛生センター） H22 35,256kl → H24 31,689kl		成果指標の実績値 （平成25年3月31日時点）	34,003kl	
	成果指標の達成状況	○	（左の理由）	下水接続を推進しているため。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）	
成果指標 ⑭	成果指標の目標数値	平成26年度中における新火葬場の供用開始をめざす ＜参考＞火葬件数 H22 850件 → H42（想定） 909件		成果指標の実績値 （平成25年3月31日時点）	874件	
	成果指標の達成状況	－	（左の理由）			
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）	
本年度の事業実績が 成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果 を記載すること		豊かな自然環境を保全するため、環境保護区域のパトロールや分別収集の指導、古紙回収の取り組みを行うなど、市、事業者及び市民が一体となり環境保全活動やごみの減量、地域循環型農業の推進に取り組んだ。また、エコエネルギーセンターはバイオガス発電施設であるが、生ごみを用いた有機物の肥料化（液肥）を推進するための拠点施設としても稼動しており、平成21年度からモデル的に液肥散布を行っている。こうした先進的な取り組みを市内外に情報発信することで、環境に対する意識の高揚と実効性の向上が図れた。				
		※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。				

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成24年度分）

団体名：京丹後市

本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	バイオガス発電で生成される液肥の消費量に合わせるため、現在は発電量を抑制しているが、液肥の普及推進により、液肥の利用が増えてきていることから、今後の発電量の増加が見込まれる。
	住民の自治意識を高める成果	市民団体による環境保全活動や古紙回収、市民協力による資源ごみの分別収集の徹底、生ごみから再資源化された液肥利用による循環型農業の推進、環境体験学習の開催など、市民自らが活動することにより循環型社会の実現に対する市民の意識が高まった。
	リーディング・モデル成果	液肥製造施設において、食品廃棄物や生ごみを肥料や新エネルギーに再資源化する先進的な取り組みを実施することで、地球温暖化対策や資源循環の仕組みなどを実際に見て学ぶことのできる学習施設として活用できた。
	広域的波及成果	コウトリもすめるさとづくりの推進によるコウトリの定住。エコエネルギーセンターを中心とした市内のクリーンエネルギーや自然環境について学ぶシンポジウムの開催など、本市の豊かな自然と環境保全の取り組みを広く紹介できた。
	行財政改革に資する成果	現清掃施設、し尿処理施設等の改修により適正稼動を維持することで、投資的経費やランニングコストを抑制できた。また、現在の3火葬場を統合し、新たな火葬場を建設することで、将来にわたる経常経費の抑制を図った。